

ひまわり

令和7年1月号



↑カラー版はこちらから

『直接声を届けることの大切さ』

校長 門脇 伸也

皆様、新年あけましておめでとうございます。年始のご挨拶が遅れましたことをお詫び申し上げます。

2月に入り、寒さも厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も皆様にとって実りの多い1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。これからもどうぞよろしく願いいたします。

さて、2月は日数が少ない月ですが、次の年度を迎えるための大切な月で、一年間を振り返り総括する時期となります。本校においても、(1)保護者の評価、(2)教職員の評価、(3)学校評議員の評価からなる学校評価を行います。この評価を受け改善事項の検討を行い、本校の教育活動の根幹となる「教育計画」へと繋げてまいります。

また、2月は皆さんがお住いの新宿区にとっても各事業の評価を行う大切な月となります。

新宿区には、10年先を長期的に見通した『新宿区総合計画』(平成30(2018)年度～平成39(2027)年度)があります。この計画に従い、3～4年単位で〇〇ビジョンや第〇次実行計画と銘打って各事業が展開されていきますが、本校の児童・生徒及び保護者や卒業生にとって繋がりがあがるのは、福祉課や教育委員会の事業です。福祉部障害者福祉課は、新宿区障害者計画(平成30(2018)年度～平成39(2027)年度)を基に第1期新宿区障害児福祉計画・第五期新宿区障害福祉計画(平成30(2018)年度～平成32(2020)年度)の事業を展開していますし、教育委員会は、『新宿区教育ビジョン』(令和6年～令和9年)を元に各学校の教育活動を推進しています。本校を管轄する教育委員会事務局(教育指導課、教育支援課、教育調整課、教育運営課)も評価を行い、次の教育ビジョンを作成するための準備を行っています。

新宿区は、これらの福祉や教育の計画を作成するためには、各障害者団体から意見を聞く機会を設けています。本校であれば、教育支援課主催で行う特別支援教育推進委員会が意見を寄せる機会となります。コロナ禍以降、これらの教育行政に生の声を届ける機会の大切さを特に感じています。

校長として、他にも気になることが2つあります。

1つ目は、災害対策です。1月中旬に、東京都肢体不自由児(者)父母の会の関係諸機関との懇談会に参加しました。能登半島沖地震災害から、「発災直後のライフラインが復旧しない中で、重度の障害のある方が避難所で長期間過ごすことは困難であること」「日頃から地域と連携し、自ら防災の取り組みに参加していくことが大切であること」などが話題となりました。本校も含め、新宿区の障害者施設は福祉避難所として指定されていますが、福祉避難所開設時の対応について新宿区との協議は始まったばかりです。

2つ目は、本校が特別支援学校として相応しい学校名への変更を検討していることです。現行学習指導要領では、かつて「訓練」と称された訓練的な教育内容から、自立を目指し、障害による困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う「自立活動」へと変更されました。「養護」から「支援」へと移行した学校教育に相応しい、本校の名称変更を望んでおります。

これらのことが区の計画の中に取り入れられ、早期に進展していくことを望む次第です。

最後になりますが、今年は桜の開花の時期が早まると言われています。寒暖の差の大きい時期です。皆様、御身大切にお過ごしください。



故・吉田茂邸にて撮影

「鶴巻小学校との交流」

12月13日（金）に、小学部5・6年生6名が鶴巻小学校へ行き、鶴巻小6年生の児童と学校間交流を行いました。7月の交流に続き、2回目となります。今回は、主に2つのゲーム活動を行いました。「つないでころがそう」では、本校と鶴巻小でチームを組み、半分に切った長い芯を仲間とつなげ、力を合わせてコースの最後まで玉を転がすことができました。「じゃんけんピラミッド」は、次から次へとくる友達と「じゃんけんアプリ」や「じゃんけんサイコロ」等も使ってじゃんけんをしながら、楽しく関わることができました。

会が終わるとすぐに、チーム内で子供たち同士が自発的に集まって会話やタッチ、記念写真を撮るなどの自然な触れ合いがあちこちで生まれ、温かい雰囲気の中で交流を終えました。

この交流を通して子供たちは、社会性を養い、豊かな人間性を育むための有意義な経験ができたと思います。これからも、両校の関わりを大切にしていきます。



「生徒会役員交流会」

12月25日（水）に、新宿区内の中学校11校が参加する「第54回新宿区立中学校生徒会役員交流会」に中学部の生徒会役員がオンラインで参加しました。今年度のテーマである「未来を切り拓く生徒会～多様性をリスペクト～」に沿って、各学校から今年度の生徒会活動について紹介があり、本校からもあいさつ運動や緑の募金活動、



運動会のスローガン作り、みんなで交流しよう集会について、動画で紹介しました。役員一人ひとりが、どうしたら活動内容が伝わるかを考え、自分なりの方法で発表できました。各校に本校の取り組みを知ってもらいよい機会となりました。また、様々な場での多様性の尊重についてグループ協議を行い、生徒会活動の活性化を図りました。これからも、生徒会活動を通して学校を盛り上げていきます。

「セーフティ教室」

1月24日（金）に、新宿警察署の交通課より2名の警察官に来校していただき、セーフティ教室を行いました。今回は、「交通安全」をテーマに、「横断歩道の正しい渡り方」について学びました。児童・生徒たちは、動画の視聴と警察官の話聞いた後、横断歩道を渡る活動をしました。警察官の「右、左、右」「手をあげて」の声に合わせて、横断歩道シートを二人ずつ渡りました。教員と一緒に渡る子、車いすを自走する子、独歩で歩く子と渡り方は様々でしたが、皆、左右をよく見たり、まっすぐ歩いたりして体験することができました。制服姿の警察官の方々が子供たちにわかりやすく教えてくださり、とても嬉しそうに活動していました。普段、街中を一人で歩くことは少ないと思いますが、安全に生活を送るために大事なことを教わりました。

